

- 問1 約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した

2. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた

3. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された

4. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた
- 問2 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた

2. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった

3. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された

4. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった
- 問3 縄文時代において、人々が定住生活を送る中で作り出した遺物のうち、表面に縄目の文様が見られることが多く、食物を煮たり保存したりするために活用された道具の名称とその特徴として適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 古墳の頂上や周囲に並べられた、人物や馬の形をした埴輪

2. 厚手で黒褐色をしており、低温で焼かれた縄文土器

3. 薄手で赤褐色をしており、文様が少なく実用的な弥生土器

4. 高温で焼かれた灰色で硬い、貯蔵用の須恵器
- 問4 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 三内丸山遺跡 ― 縄文時代

2. 登呂遺跡 ― 弥生時代

3. 吉野ヶ里遺跡 ― 弥生時代

4. 三内丸山遺跡 ― 弥生時代
- 問5 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された

2. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である

3. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である

4. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された
- 問6 縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。

2. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。

3. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。

4. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。
- 問7 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 持続可能な社会

2. 高度情報化社会

3. 多文化共生社会

4. 中央集権社会
- 問8 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため

2. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため

3. 大規模な稲作を行うための、種もみを長期間保管するため

4. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため
- 問9 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

1. 古墳時代

2. 旧石器時代

3. 弥生時代

4. 縄文時代
- 問10 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)

1. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた

2. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた

3. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いつながら移動して生活していた

4. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた
- 問11 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 琉球民族

2. 蝦夷（えみし）

3. アイヌ民族

4. 渡来人
- 問12 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

1. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。

2. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。

3. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。

4. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。